

# 大豆栽培管理情報（莢先熟対策号）

令和3年7月13日  
アルプス農協管内農業技術者協議会

令和2年に発生した「莢先熟」の主な要因は、「早播き」「過剰施肥」「栽植本数不足」「開花期以降の干ばつ」「カメムシ害」によるものでした。

今後は、「開花期～9月上旬までの畦間かん水」と「病害虫防除の徹底」により、莢先熟対策に努めましょう。

## 1. 畦間かん水 ～開花期以降の干ばつを防止しましょう～

### ○畦間かん水のポイント

- ・開花期から9月上旬の間、**3日間以上晴天が続いた場合は**、土壌の乾き具合に応じて早めに**畦間かん水を行いましょ**う。
- ・かん水は**短時間で行い**、圃場全体に水が行き届いたら水口を止め、**速やかに排水しましょ**う。
- ・かん水は朝夕の涼しい時間帯に行いましょう。
- ・地域での計画的な用水の利用を行いましょう。



畦間かん水の様子



乾燥した土壌



水不足の大豆

## 2. 病害虫防除 ～虫害による莢数の減少、子実肥大停止を防止するために防除を徹底しましょう～

### ○病害虫防除のポイント

- ・ウコンノメイガの常発地では、幼虫による**葉巻の発生を確認したら**、**速やかに防除**しましょう。
- ・紫斑病、カメムシ類等の病害虫を対象とした**2回の基本防除を徹底**しましょう。
- ・農薬の使用基準を守り、周辺への飛散防止に努めましょう。

<病害虫防除の目安> ※ 下表以外の病害虫についても発生状況に応じて適切に防除しましょう。

		随時防除	基本防除		随時防除
散布時期		7月下旬～8月上旬 【葉巻を発見したら】	8月上～中旬 【莢が伸びきった頃】	8月下旬 【枝豆程度の頃】	8月下旬～9月中旬 【被害を発見したら】
対象病害虫 農薬名 散布量	粉剤体系	ウコンノメイガ	紫斑病、カメムシ類	紫斑病、カメムシ類、 アブラムシ類	ハスモンヨトウ、マメシクイガ、 カメムシ類、アブラムシ類
		ダントツH粉剤 DL 4 kg/10a	スミチオンベルコート 粉剤DL 3 kg/10a	Zボルドートレボン 粉剤DL 4 kg/10a	トレボン粉剤DL  4 kg/10a
	液剤体系	ウコンノメイガ	紫斑病、カメムシ類	紫斑病、カメムシ類	ハスモンヨトウ、マメシクイガ、 カメムシ類、アブラムシ類
		プレバソン フロアブル5 4,000倍 150 ℓ/10a	ベルコートフロアブル 1,000倍 + ダントツフロアブル 2,500倍 150 ℓ/10a	アミスタートレボン SE  1,000倍 150 ℓ/10a	トレボン乳剤  1,000倍 150 ℓ/10a



ウコンノメイガによる葉巻



紫斑病



イチモンジカメムシ



ハスモンヨトウ

### 3. 雑草防除

○雑草を抑えるために、**2回の培土を確実に実施しましょう！**

- ・2回の培土で雑草を抑えられない場合は、雑草の種類や葉齢に応じ、除草剤を適切に使用しましょう。
- ・**非選択性除草剤は除草剤がかかった大豆を枯らす**ので、非選択性除草剤は大豆にかからないよう、吊り下げノズル等を使用し**飛散に十分注意して散布**してください。

#### <大豆の生育期処理除草剤>

種類	対象雑草	除草剤名	使用方法	使用時期			使用回数	除草効果についての留意点		
				時期	雑草の生育ステージ等	収穫前日数				
選択性除草剤	1年生イネ科	ナブ乳剤	全面散布	雑草生育期	イネ科雑草 3~5葉期	30日前まで	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適用雑草としてスズメノカタビラを除く。</li> <li>・広葉雑草及びカヤツリグサ科には効果が期待できない。</li> </ul>		
		ワンサイドP乳剤		雑草生育期	イネ科雑草 3~5葉期	60日前まで	1回			
		ポルトフロアブル		雑草生育期	イネ科雑草 3~10葉期	30日前まで	1回			
	1年生広葉	大豆バサグラン液剤		大豆2葉期~開花前	雑草の生育初期~6葉期	45日前まで	1回		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アカザ科、ヒユ科、トウダイグサ科、ツユクサ科の雑草には効果が劣る。</li> <li>・イネ科雑草には効果がない。</li> </ul>	
非選択性除草剤	1年生雑草	ラウンドアップマックスロード	畦間処理	雑草生育期	-	前日まで	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非選択性除草剤なので、大豆にかからないように十分注意する。</li> </ul>  <p>畦間・株間処理</p>		
		ザクサ液剤				28日前まで			ザクサ及びバスタ 3回以内	
		バスタ液剤				28日前まで				
	1年生雑草	ロロックス	雑草茎葉兼土壌散布	畦間・株間処理	大豆3葉期以降 雑草生育期	雑草草丈 15cm以下	30日前まで		1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非選択的に作用するため、大豆の本葉にかからないように散布する。</li> <li>・イネ科雑草やツユクサには効果が劣る。</li> </ul>
		1年生広葉	タッチダウンiQ	雑草茎葉塗布	大豆着莢期以降 雑草生育期	-	7日前まで		2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専用器具を使用する。</li> <li>・塗布処理場所は茎とし、大豆の草冠より上の10~15cm部分に行う。</li> </ul>

吊り下げノズル

専用器具

#### <難防除雑草に注意！>

- ・**帰化アサガオ類、イヌホオズキ類、ヒユ類等**の難防除雑草は生育が早く繁殖力が旺盛で、**圃場内で生育が進むと防除が困難**になります。
- ・圃場内外での早期発見に努め、発見した場合は、**速やかに除去**しましょう。



マルバルコウ



マメアサガオ



アメリカアサガオ



イヌホオズキ類



ヒユ類

難防除雑草の幼植物